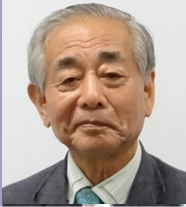


## 博修士会会報

Alumni Bulletin For K.U.Masters and Doctors

2024年7月1日発行

▲ 吹田みらいキャンパス 2023年10月開設  
ビジネスデータサイエンス学部(仮称・設置構想中)

## ごあいさつ

関西大学博修士会会長 北嶋 弘一

関西大学修士会は、第一期修了生によって1952(昭和27)年3月31日に設立され、1975年に組織母体である関西大学大学院が博士課程大学院として組織変更されたのに伴い、同年6月総会での「関西大学博修士会」と名称と組織の変更を経て、本年度で72年目を迎えることができました。会員の皆様におかれましては、ますますご清祥にて各地ならびに各界においてご活躍のことと拝察申し上げます。平素より本会の活動に対しましては心温まるご助言や特別協力金のご寄付など数々のご支援ならびにご協力を賜りまして心から感謝申し上げます。

今年の年頭1月1日に発生しました最大震度7を観測した能登半島地震は、2011年の東日本地震に匹敵する規模であり、245人の命を奪い、道路や水道などインフラやライフラインが壊滅的な被害を受け、震災からの復旧・復興が遅々として進まぬ状況に苛立ちを覚えます。被災されました会員および関係者の皆様には、一日も早く日常生活が取り戻せますよう心よりお祈り申し上げます。

大学院創立以来これまでの修了者および学位取得者の総数は、25,500名を超え、博修士会は校友会組織の中でも大所帯の同窓会の一つとして発展を遂げております。現在の関西大学大学院は、法学、文学、経済学、商学、社会学、総合情報学、理工学、外国語教育学、心理学、社会安全、東アジア文化、ガバナンス、人間健康の13研究科博士課程前期課程および同後期課程と法務、会計の2専門職学位課程の計15研究科を擁する我が国屈指の大学院に発展、充実しております。

去る3月21日に行われました学位記授与式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策実施方法に戻して、BIGホールにおいて挙行されました。618名の修士と79名の専門職を合わせた697名の修了生および43名の博士の合計740名を本会の新たなメンバーとして迎えるとともに、昨年の9月期の学位記授与式では、修士と専門職の合計32名の修了生および14名の博士を迎えました。さらに4月2日に実施された入学式も全研究科揃って中央体育館で開催されましたが、15研究科844名および昨年の秋学期入学生37名を加えた881名のフレッシュな院生会員を迎え、母校関西大学の学術研究発展の中核としての一翼を担っていただくことを大いに期待するものであります。

来る9月21日(土)に関西大学院生協議会との共催で「第3回院生合同学術研究ポスター発表大会2024」を下記のとおり開催いたしますので、ぜひご参加いただき分野・世代・国境を超えた学術交流ネットワークの構築にお力添えをお願いいたします。また、翌日の22日(日)には関西大学博修士会の総会・学術講演会・懇親会を下記の通り2025(令和7)年4月に「ビジネスデータサイエンス学部」が開設される予定の吹田みらいキャンパスにおいて、商学研究科教授の矢田勝俊先生を講師にお迎えして「新学部の将来構想」について講演いただきます。会員の皆様にはぜひ新キャンパスにお出向きいただき、関西大学と博修士会の未来について大いに歓談できれば幸いに存じます。

## 2024年度 総会・学術講演会・懇親会 および 院生合同学術研究ポスター発表大会2024のご案内

## ● 2024年度 総会・学術講演会・懇親会のご案内

- 日 時: 2024年9月22日(日) 12:30から受付開始  
場 所: 関西大学吹田みらいキャンパス、サウスウイング2階中研修室  
内 容: 第1部: 総 会 13:00~14:30(キャンパス内見学含)  
第2部: 学術講演会 14:30~15:30  
演 題: 「ビジネスデータサイエンス学部構想(仮題)」  
講 師: 矢田勝俊 先生(関西大学商学部教授)  
第3部: 懇 親 会 15:30~17:00 サウスウイング1階  
食堂ラウンジ(Ⓜエントランスは地下1階です)

総会・講演会参加者: 会員+会員の紹介者に限定(事前申込制)

会費: 会員と同伴者は7,000円、院生会員は3,000円(要・事前申込)

お願い: ご出席の方は、9月10日(火)までに

郵便振替でお申し込み下さい

■ 郵便振替: 00900-2-68733 関西大学博修士会

通信欄に「総会参加費」・「特別協力金」など詳しくご記入下さい

## ■ 問合せ先: 博修士会総務部

FAX: 075-331-6647

e-mail: kandaimd@muse.ocn.ne.jp

(総務部 中原宛)

郵便: 千610-1102

京都市西京区御陵大枝山町6-14-6

博修士会総務部長: 中原住雄



申込用



関西大学商学部

矢田勝俊 教授

## ● 院生合同学術研究ポスター発表大会2024のご案内

- 日 時: 2024年9月21日(土) 9:50受付 10:20開催挨拶  
場 所: 関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館 C501-C503  
内 容: セッション1: 口頭発表(各3分) 10:30~12:00  
懇親会: ランチパーティ 12:10~13:10  
セッション2: ポスター発表前半 13:20~14:20  
セッション3: ポスター発表後半 14:30~15:30  
優秀者投票(+集計): 14:20~15:40(+30)  
表彰式: 表彰・集合写真・閉会挨拶 16:10~17:30

# 会員からのメッセージ

## 後期高齢者でいただいた学位記



猪熊 兼勝

(2024 博 文学研究科)

子供の頃「博士」と云えば、手塚治虫の鉄腕アトム父親役のお茶水博士のことであった。手塚は奈良県立医大で博士号をとったが、間もなく漫画家へ転身した頃だった。彼の博士論文は医大に保管されている。私の父は法学部の教授であったが、友人が「君の家にもフレスコや試験管があるのか」と聞いてきて、ガッカリした友人の姿を覚えている。今、私はコーヒー用のフレスコを前に、お茶の水博士に一步近づいたのかもしれない。

私の学生時代「博士」と云えば、大先生が晩年にいただかれ、祝賀会が催された。博士の書かれた論文は「神のことば」でもあった。引用する時「何々先生」ではなく「何々博士」と特記したものである。

昭和49年、大学院設置基準で大学院に博士課程が制定された。だが、旧体制然として、新制博士も至難の道だった。民主化が進み徐々に課程博士が誕生し始め、優秀な若い博士が誕生し始めた。旧制度も併存したが、私はこの狭間に遭遇し、次第に取り残されていった。それを口実に博士とは無縁の存在であったが、80歳も半ばの頃、考古学の米田文孝先生から論文提出のお話を頂いた。聞くと25万字以上の副論文が必要との事、やはり無縁の存在となった。それでも励ましのお言葉を頂き、記憶をたどり、拙文を集めると40万字あった。全部で80万字程になりそうだ。意外と雑文を書いていたものだ。主としたテーマは「飛鳥時代の古墳」。その始まりは、学生時代に出会った大阪府柏原市安福寺の漆板を聖徳太子の柩断片とするものであった。自信ある結論だったが、研究者には無視された。60年後の平成31年、これを証明できる確定的な文書が現れた。奇跡だった。

昭和47年には高松塚が発掘され、調査に関った関西大学考古学研究室は、世間の注目するところとなった。高松塚は封鎖的な考古学研究の世界を学際的なオープンな学問へと解放させた。これに関西大学が関わった事は大きな誇りである。

その成果の一つとして、飛鳥時代の古墳は被葬者論がつきものである。そんなことを思い浮かべながら、やっと論文が完成した。読み返すと、死者を葬る薄葬の話が多く、テレビで家族葬、樹木葬のコマーシャルと併存する。歴史的に見ると、仏教が火葬を推進し、散骨をリードしてきた。生きた証を消滅することが新羅文武王や元明天皇の願いでもあった。時間は刻々と現代を過去とし、無限に歴史学の対象となる。やがて考古学から「古墳の被葬者論」はなくなるだろう。古代仏教の究極は、現代の先端葬法とクロスする。

久しぶりに母校を訪れると、広大な広場は、コンクリートジャングルに様変わりしていた。厳粛な学位授与式は、始めて見る新しい関西大学の姿であった。知らないことだらけで、頭が混乱する。

## やらされる学びからやる学びへ



村田 宗一郎

(2024 修 社会安全研究科)

人生1度きりだから挑戦したい。これは学部3年生の夏休みに私が考えていたことです。この時期はコロナ禍であったため、従来の大学生生活とは程遠い生活を送っていました。一人で過ごす時間が必然的に多くなり、その中で自分の将来を真剣に考えるようになりました。そして、学問を突き詰めたいと思い、本学大学院への進学を決意しました。

大学院では、学部生時の研究と同様に地震防災に関係したテーマを研究しました。私の研究では、

2018年にインドネシアで発生した地震被害を対象とし、インドネシアの留学生と共に研究しましたが、本年1月1日に発生しました令和6年能登半島地震の被害を見て、改めて自身の研究の必要性を痛感しました。学部生時代および大学院生時代の研鑽は、今後、発生が予想されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの被害を少しでも軽減できると考えています。

卒業後に自身の研究活動について振り返ってみると様々なことに挑戦したと思います。ここでは、特に記憶に残っていることを3つ紹介します。

1つ目は理転に向けた基本的な学力の会得です。私は高校時代、文系コースに所属していました。自身の研究は理系の要素が強いため、高校の科目から学び直しました。独学に加えて、研究室の指導教員である一井康二教授に授業外で勉強会に付き合っただき、研究を行える状態にまで至ることが出来ました。

2つ目は英語での研究活動です。留学生と研究活動を行う性質上、研究の進捗報告や相談などは基本的に英語で行われました。当時、日本語での専門用語の理解すらままならない私にとっては非常にハードでしたが、留学生の献身的なサポートもあり、なんとかついていくことが出来ました。

海外の大学との交流会の現地の研究について英語で発表する機会もいただくことが出来ました。

最後に他の研究室との共同研究です。大学院に進学するからにはとことん頑張りたいという思いから、所属している研究室以外の研究室の活動にも参加させていただきました。似たような研究についても研究室の方針からアプローチの方法が異なり、物事を様々な角度から見る事が出来るようになったと思います。また、修士論文とは関係のない研究で論文執筆にも取り組み、当時はがむしゃらに頑張っていました。今となっては大変いい経験になったと思います。後輩の皆さんには、自身の研究で大変だとは思いますが、自身のさらなる成長に繋がると思って異なる研究にも積極的に挑戦してほしいです。

以上のように、私の研究活動は様々なことに挑戦してきました。これらを経験し修了することが出来たのは、諸先生方をはじめ同期や先輩・後輩、家族のサポートあってのことだと思えます。本学で学びを深めれたことに誇りを持ち、今後社会に貢献できるようさらなる精進をしていく所存です。

## 博修士会からのお願い

郵便振替 00900-2-68733 関西大学博修士会

特別協力金のご協力を頂きました会員の皆様にお礼申し上げます。会の財政が逼迫しておりますので、本年度も引き続きご協力をお願い致します。1口1,000円、できれば2口以上でお願いいたします。

### 特別協力金納入者名簿 (五十音術、敬称略) (2023年4月1日～2024年3月31日)

天井 一夫	網本 浩幸	池田 勝彦	池町 健太郎	今村 隆	岩井 治夫
江川 承和	大倉 俊	岡 照二	岡本 哲和	緒方 正則	小幡 斉
笠原 俊幸	鎌田 啓貴	北嶋 弘一	北村 英子	北村 佳之	木下 雅信
木村 昌司	黒堀 健志	五藤 勝三	竿田 嗣夫	坂本 信雄	佐々木 保幸
笹倉 淳史	鹿田 幸治	篠塚 義弘	竹中 敏治	椿 信二	富岡 宣之
中橋 久史	中原 住雄	永尾 俊一	永見 雄彦	西出 治彦	羽間 弘
飛田 篤	平野 裕	藤井 昭三	藤田 大輔	松本 始	真部 和義
水野 一郎	明神 信夫	村中 徳明	山本 善章	山元 哲朗	横田 伸敬
若林 優哉	和田 葉子				



# 大学ニュース

University News



## 吹田みらいキャンパスと 新学部「ビジネスデータサイエンス学部」

関西大学商学部教授 矢田 勝俊

2023年10月、関西大学は新たなキャンパス「吹田みらいキャンパス」を開設し、現在、このキャンパスに新学部「ビジネスデータサイエンス学部」の設置を構想中です。本稿では、新キャンパスで展開されるビジネスデータサイエンス学部を中心に、関西大学の新たな取り組みの一部を紹介させていただきます。

関西大学は5つめのキャンパスとして、吹田市内に「吹田みらいキャンパス」を開設しました。このキャンパスには新国際学生寮を中心とした国際交流や充実したスポーツ施設を通して、国内外から多様な人々が集い、それぞれの「みらい」を描く場所として設立されました。その中で拠点のコアとして構想されているのが新学部「ビジネスデータサイエンス学部」です。

近年、ビッグデータの時代として、AIや機械学習などを駆使したデータ分析は、経営に不可欠なものとなりつつあります。データサイエンスはそうした諸問題を解決するための技術の総称を指し、計算機科学、統計学、人工知能等、様々な技術領域を包含するものとして大きな関心を集めています。特にビジネスでは環境変化が激しく、データサイエンスへの取り組みは企業の生き残りをかけた条件とさえ言われています。関西大学が構想する「ビジネスデータサイエンス学部」はビジネス分野におけるデータサイエンス

に特化し、より実践的な人材を育成しようとしています。この構想されている新学部について、ここでは2つの特徴に焦点を当てて紹介させていただきます。第一の特徴は、ビジネスにおけるデータサイエンスの実践的なスキルを身に付けるため、ビジネスの基礎知識を学び、産学連携のもと、企業の実データを中心に高度な分析力や構想力を高めるところにあります。第二の特徴は、実際のビジネスの場で必要とされる課題解決力やコミュニケーション能力を高めるため、多様な環境でのチームビルディングを重視している点です。新キャンパスに設置されている国際学生寮は多様な文化やバックグラウンドをもつ学生を惹き付ける重要な拠点になると考えられています。

このように新学部はビジネスとデータサイエンスの融合により、未来のビジネスに貢献する人材を輩出し、豊かな社会を築く一助になることを目指し、設立されました。今後、先生方のご支援をいただきつつ、皆様の期待に応えていきたいと考えています。是非、新学部に関心と期待を持っていただき、ご支援を賜れば幸いです。

※関西大学博修士会総会・学術講演会(新キャンパス見学)が2024.9.22(日)に関西大学吹田みらいキャンパス、サウスウィング2階中研修室で開催予定。新キャンパスを見学できる良い機会ですので、是非とも参加いただき、矢田教授のご講演をお聞き下さい。

## 先輩（役員）から



### 博修士会の過去・現在・未来

村中 徳明 (1974年修了 工学研究科)

(関西大学名誉教授・博修士会副会長(渉外・編集部長))

私は、1968年に関西大学第一高等学校、1972年に関西大学工学部電子工学科を卒業し、1974年に同大学大学院工学研究科修士課程電気工学専攻を修了しました。同年4月住友スリーエム(株)に勤務後、同年11月本学助手として着任しました。それから半世紀ほどたちましたが、今も関西大学名誉教授、博修士会役員として関西大学に所属させていただいています。私に取りまして、義務教育後は関西大学一筋に過ごしてきました。厳密に言いますと、関西大学からカナダのビクトリア大学ミラー教授の処に1年間在外研究員として行かせて頂きましたが、関西大学は私の母校そのものです。この母校愛を博修士会会員の皆様と生涯大事にしていけることを誇りに思っています。

博修士会の過去の活動を顧みたと、会員の皆様と共に寄り添って歩んで来れたのか疑問です。これまで総数25,500名を超える大学院修了生が誕生し、博修士会役員として会長コーナー(会長、会長代理、副会長、顧問・相談役など19名)、常任理事・監事(副部長27名)、理事(44名)の名前を連ねていますが、一般の正会員、名誉会員、院生会員の関心は薄く、会報で情報を得る程度と思われる。これはとても悲しい状況です。(博)修士会が設立された当初の目的は何だったのでしょうか？

修士会年譜を遡りますと、1952(昭和52)年3月31日関西大学大学院修士課程第1期修了生55名の修士記授与式終了後、恩師をまねいて謝恩会を開き、その席上で関西大学修士会を結成、会則承認可決。名誉会長に、学長・大学院部長岡野留太郎先生を推戴、会長・宮田輝穂、副会長安橋貞夫、同藤井昭三を選出、関西大学修士会 会則・会員名簿発行とあります。この会則第2条では「本会は、会員相互の交誼を厚くし、学術研究に資し、母校関西大学大学院の隆盛を図ることをもって目的とする」。第5条では「本会には、正会員と名誉会員とをおく。1. 正会員は、関西大学大学院修士課程および博士課程前期を修了したもの 2. 名誉会員は、関西大学大学院の教職にあるもの」と謳われています。第2条の目的における会員相互の交誼とは、恩師である名誉会員と院修了生の正会員間の

親睦・交友であり、学術研究に資しとは、名誉会員・正会員が研究科・院生の自由な発想と研究意欲を源泉として行う知的創造活動を支援・補助することだと思われます。後に、第5条の会員に、入学が許可され学籍を有する院生会員を加える改正が行われましたが、これらの会員間の学術的交流および院生などに対する研究費支援制度など重要課題のいずれも、博修士会の貧困な財政の現状から実現に至っていません。さらに、個人情報保護法により4年ごとの会員名簿が発行できず、博修士会から新任の大学院教職員方に博修士会の存在および名誉会員になられたことを知らせる機会がなく、博修士会を知らない名誉会員がほとんどです。そのため、博修士会活動を支える終身会費納入を勧めてくださる先生方は少なく、終身会費納入率は停滞気味です。博修士会設立者は、修了後も母校愛を大切にしている体育系OB・OG会のように気さくに過去・現在・未来の修士・博士が分野・世代・国境を超えて交流できる校友会組織を想定されていたと思います。

博修士会は、一昨年(2022年)3月31日に70歳の誕生日(古希:祝い色 紫)を迎えることができました。この70周年を記念して、上述の目的を達成するため、大学院研究科、特に院生との関係強化に重点を置き、院生協議会主催の院生合同学術研究大会の一環として大学院研究科の大きな青空に、虹色の橋を架ける「院生選抜ポスター発表コンクール」を企画いたしました。院生合同学術研究大会担当の事務局、学校法人関西大学並びに大学院教育職員(名誉会員or正会員)の協力支援により、2022年11月26日第1回開催まで辿り着くことができました。2023年9月30日第2回「院生合同学術研究ポスター発表大会(改名)」を終え、2024年度9月21日(土)第3回を準備中です。参加費無料ですので、母校愛がまだ消滅していない会員様は、是非現役院生の学術研究に触れ、コミュニケーションを通じて、院生時代を回顧してみませんか。若返りますよ。最後に、会長コーナーの高齢化で早急に後継者育成が必要です。今後の発展を若い理事に委ねたく、理事会、総会・学術講演会へのご参加をお待ちしております。

# 総会議案書

## 〈第1号議案書〉

### 2023年度事業報告

2023年4月1日～2024年3月31日

#### [1] 総会に関する事項

2023年度 総会・学術講演会

開催日時：2023年9月30日(土)10:00～

開催場所：関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館 C507教室

来賓：芝井 敬司 関西大学 理事長

前田 裕 関西大学 学長

藤田 高夫 関西大学 副学長(国際部長)

田中 正喜 関西大学校友会 副会長

村上 晋 関西大学校友会 事務局

小谷 寛子 女子秀麗会会長

◇第1部：総会 10:00～11:00 C507教室

(1) 2022年度事業報告

(2) 2022年度収支決算および監査報告

(3) 2023年度一般会計収支予算案

◇第2部：講演会 11:10～12:20: C507教室(ZOOM併用)

演題:「ピンチをチャンスへ!

～いもたこなんきんによるワクワク未来づくり～

講師:永尾 俊一 氏:白ハト食品工業代表取締役社長

◇第3部:懇親会 12:20～13:20:C503教室

ランチパーティー形式

#### [2] 役員会に関する事項

##### ◇理事会

・2023年4月3日(月) 12:00～ 校友父母会館

総会・学術講演会・会報発行計画・決算・予算、財政問題等

##### ◇常任理事会

・2024年2月24日(土) 13:00～ 校友父母会館

(学位記授与式と入学式、入会案内・入会受付手続き、に関する件、2024年第10回理事会、2024年度総会・学術講演会・会報発行計画、会計中間報告、役員改選、院生ポスター発表大会等)

#### [3] 会報発行に関する事項(広報部・編集部)

・2023年7月1日(土)

「会報2023年号」を編集・発行

・2023年11月1日(水)

「関西大学院生協議会 & 関西大学博修士会 会報No.1」発行

2023年度「院生合同学術研究ポスター発表大会」開催レポート

#### [4] 行事に関する事項

・院生合同学術研究ポスター発表大会(関西大学院生協議会と共同主催)

・開催日時:2023年9月30日(土)13:00～18:00

・開催場所:千里山キャンパス第2学舎2号館:C501～C503教室

##### ◇その他

(1) 2023年4月2日(日)

・校友会2023年スプリングフェスティバル:千里山キャンパス

(2) 2023年4月3日(月)

・大学院入学式、千里山キャンパス中央体育館

院生会員への勧誘資料配布

博士課程前期課程:春学期4月:701名+2022年9月秋学期15名

博士課程後期課程:春学期4月:54名+2022年9月秋学期10名

大学院専門職課程:103名(会計研究科:48名、法務研究科:55名)

(3) 2023年6月10日(土)

・校友会第121回定時代議員会:100周年記念会館(会長コーナ)

(4) 2023年7月1日(土)

・校友会全国組織代表者会議

(関西大学100周年記念会館:会長以下4名限定対面参加)

(5) 2023年9月19日(火)

・大学院9月期学位(修士・専門職)記授与式

+秋学期入学式:100周年記念会館

・新会員の入会勧誘資料配布(学長課に取りまとめ依頼)

(6) 2023年9月24日(日)

・校友会関西大学フェスティバル in北陸:ホテル金沢(会長)

(7) 2023年10月22日(日)

・校友会2023年度総会に参加:100周年記念会館

(8) 2024年1月15日(月)校友会新年互礼会:大阪新阪急ホテル(会長)

(9) 2024年3月21日(木)

・大学院学位(博士・修士・専門職)記授与式:Bigホール100

・新会員の入会勧誘資料配布(学長課に取りまとめ依頼)

博士課程前期課程:618名+2023年9月期:25名

博士課程後期課程:35名+2023年9月期:11名

論文博士:8名+2023年9月期:3名

大学院専門職課程:79名+2023年9月期:7名

(会計研究科:57名、法務研究科:29名)

(10) 2024年3月23日(土)

・校友会第122回定時代議員会:100周年記念会館

(会場出席+ライブ動画配信で対応)(会長コーナ)

## 〈第2号議案書〉

### 2023年度収支決算報告書

#### 一般会計収支決算書

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	執行額	差引残高
1. 会費収入	420,000	168,000	252,000
① 正会員入会金収入	60,000	0	60,000
② 院生会員入会金収入	360,000	168,000	192,000
2. 事業収入	140,000	88,000	52,000
① 総会費収入	120,000	88,000	32,000
② 広告料収入	20,000	0	20,000
3. 雑収入等	30,050	60,003	▲ 29,953
① 雑収入	30,000	60,000	▲ 30,000
② 受取利息	50	3	47
4. 特別協力金等	400,000	485,000	▲ 85,000
特別協力金収入	400,000	485,000	▲ 85,000
当期収入合計	990,050	801,003	189,047
前期繰越金	823,517	823,517	0
合計	1,813,567	1,624,520	189,047

# 総会議案書

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	執行額	差引残高
1. 一般管理費	300,000	255,110	44,890
① 通信費	110,000	113,994	▲ 3,994
② 事務用消耗品費	80,000	50,827	29,173
③ 支払手数料	30,000	5,626	24,374
④ 雑費	80,000	84,663	▲ 4,663
2. 会議費	70,000	94,270	▲ 24,270
① 総会費	40,000	50,310	▲ 10,310
② 諸会議費	30,000	43,960	▲ 13,960
3. 事業費	600,000	267,300	332,700
① 印刷費	550,000	267,300	282,700
② 修士記授与記念写真費	10,000	0	10,000
③ 記念品費	40,000	0	40,000
予備支出	30,000	0	30,000
予備費	30,000	0	30,000
当期支出合計	1,000,000	616,680	383,320
次期繰越金	813,567	1,007,840	▲ 194,273
合計	1,813,567	1,624,520	189,047

(注) 当期収支差額は、プラス184,323円

## 特別会計収支決算書 奨学金特別基金

自 2023年4月1日 至 2024年3月31日

(単位:円)

収入の部	金額	支出の部	金額
前期繰越金	1,205,012	次期繰越金	1,205,024
受取利息	12		
合計	1,205,024	合計	1,205,024

## 財産目録

2024年3月31日現在

(資産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
普通貯金	一般会計収支(りそな/難波)	244,367
振替貯金	一般会計収支 (ゆうちょ/大阪事務センター)	737,770
通常貯金	一般会計収支 (ゆうちょ/大阪事務センター)	25,703
小計		1,007,840
普通貯金	特別会計 奨学金特別基金用 (りそな/難波)	1,205,024
合計		2,212,864

(負債及び正味財産の部)

(単位:円)

科目	摘要	金額
正味財産	次期繰越金	2,212,864
合計		2,212,864

## 監査報告書

関西大学博修士会

会長 北嶋 弘一殿

私たちは、2023年4月1日から2024年3月31日に至る一般会計収支決算書、奨学金特別基金および名簿特別勘定の特別会計収支決算書、ならびに財産目録について監査を実施いたしました。

監査の結果、上記決算書類は、適切なものであることを認めます。

2024年5月18日

監事 竿田 嗣夫 (印)

監事 水野 一郎 (印)

監事 吉城 唯史 (印)

### 〈第3号議案書〉

## 2024年度 一般会計収支予算(案)

自 2024年4月1日 至 2025年3月31日

(収入の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常収入	590,050	
1. 会費収入	420,000	
① 正会員入会金収入	60,000	正会員入会見込 15,000×4人
② 院生会員入会金収入	360,000	院生会員入会見込 12,000×30人
2. 事業収入	140,000	
① 総会費収入	120,000	総会出席見込 3,000×40人
② 広告料収入	20,000	広告掲載見込 10,000×2件
3. 雑収入等	30,050	
① 雑収入	30,000	お土産料
② 受取利息	50	貯金利益等
4. 特別協力金等	400,000	
特別協力金収入	400,000	
前期繰越金	1,007,840	
合計	1,997,840	

(支出の部)

(単位:円)

項目	予算額	摘要
経常支出	940,000	
1. 一般管理費	300,000	
① 通信費	110,000	総会、役員会案内発送費
② 事務用消耗品費	80,000	文房具、事務用品費
③ 支払手数料	30,000	振込、振替送金手数料
④ 雑費	80,000	
2. 会議費	90,000	
① 総会費	50,000	講演料・資料代など
② 諸会議費	40,000	役員会会議費等
3. 事業費	550,000	
① 印刷費	540,000	会報、総会案内状印刷費
② 修士記授与記念写真費	10,000	
予備支出	30,000	
予備費	30,000	
当期支出合計	970,000	
次期繰越金	1,027,840	
合計	1,997,840	

### 〈第4号議案書〉

役員改選

### 〈第5号議案書〉

その他





## 2023年度 第71回 博修士会総会・ 学術講演会（報告）

2023年度の博修士会総会・学術講演会は、9月30日（土）に関西大学千里山キャンパス第2学舎2号館C507教室で開催した。本会には芝井敬司 理事長、前田 裕 学長、藤田高夫 副学長（国際部長）、田中正喜 校友会副会長、村上晋 校友会事務局、小谷寛子 女子秀麗会会長に来賓として出席していただいた。

総会では物故者に黙とうを捧げた後、数年ぶりに学歌を斉唱した。その後、芝井敬司 理事長、前田 裕 学長、田中正喜 校友会副会長からご挨拶を頂戴し、総会の議事に移った。北嶋会長の議事進行のもとで、2022年度事業報告および収支決算報告、監査報告、そして2023年度一般会計収支予算案が提示され、全ての議案が承認された。

学術講演会では、関西大学経済人クラブ会長も務められている白ハト食品工業株式会社代表・しろはとホールディングス株式会社代表取締役の永尾俊一氏による「ピンチをチャンスへ！～いもたこなんさんによるワクワク未来づくり～」と題する講演を行った。永尾氏は遺暦を迎えられたこともあって、タレントのカズレーザーを彷彿させる真つ赤な出で立ちで登壇された。講演では、関西大学法学部時代の友人関係に支えられた「たこ家道頓堀くぐる」の立ち上げから、「らぼっぽファーム」の展開、そして近年注力されている農業生産法人事業について熱く語られた。永尾氏は「いもたこなんさんで、笑顔をつくりたい」をスローガンに、顧客志向を徹底されるのみならず、6次産業化を追求し、日本の食料（食

糧）自給率の向上にも邁進されている。また、「人生偏差値」という切り口から、現代を強く生き抜く重要性も語ってくださり、本学学生にも聞かせたい内容であった。このような壮大な事業や人生訓に溢れる講演であったが、終始ユーモアを交えて楽しい語り口でお話して下さった。

学術講演会の後はランチタイムを設け、永尾氏を交えて大いに歓談しながら会食を行った。参加された皆様は、学術講演会から引き続き、和やかで楽しい時間を過ごされた。（博修士会 広報部）



## 院生協議会 & 博修士会合同主催 「院生合同学術研究ポスター発表 大会2023」

2022年度、博修士会創立70周年行事として、関西大学大学院研究科の大空に虹色の橋を架ける企画「院生選抜ポスター発表コンクール（略：ポスカン）」を院生協議会と合同開催しました。2023年度から、コンクールを学術研究発表大会（コンファレンス）として「院生合同学術研究ポスター発表大会（略：ポスカ大会）」と名称を新たに、継承開催することになりました。実行委員会は北嶋委員長（博修士会会長）、嶋田副委員長（院生協議会会長）、明神副委員長（博修士会会長代理）、他9名（博修士会）と8名（院生協議会）の役員で構成されました。

開催に当たり、院生合同学術研究発表大会担当学事局、学校法人関西大学並びに大学院教育職員の協力支援、発表にチャレンジ頂いた院生16名に感謝します。開催の詳細は、2023年度「関西大学院生協議会 & 関西大学博修士会 会報 NO.1」の開催レポートをご覧ください。（博修士会 広報部・総務部）



### 事務局便り

「院生合同学術研究ポスター発表大会2023（+2022）」のダイジェスト版（DVD版）・ポスター集（CD版）セットを試作（10部）しました。希望者は博修士会にお問い合わせ下さい。

お知らせ！

関西大学博修士会

検索



ホームページも見て下さい！

[www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/](http://www2.kandai-koyukai.com/al/kandai-md/)

### 博修士会会報 2024年号

2024年7月1日 発行  
 発行人 北嶋 弘一  
 編集人 篠塚 義弘・中原 住雄・村中 徳明  
 発行所 関西大学博修士会  
 〒564-8680 吹田市山手町3-3-35  
 関西大学校友会事務局気付